

平成 27 年 6 月 1 日制定

平成 29 年 4 月 1 日改訂

平成 29 年 4 月 1 日施行

## (趣 旨)

第 1 条 この構造計算適合性判定業務手数料規程は、別に定める一般財団法人日本建築センターの構造計算適合性判定業務規程に基づき、一般財団法人日本建築センターが実施する構造計算適合性判定に係る手数料について、必要な事項を定めるものである。(い) (と)

## (判定手数料)

第 2 条 構造計算適合性判定業務規程第 20 条に規定する構造計算適合性判定の申請に係る手数料の額は、一の建築物ごとに、次の各号に掲げる構造計算適合性判定の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。ただし、建築物の二以上の部分がエキスパンションジョイントその他の相互に応力を伝えない構造方法のみで接している部分（地上部部分がエキスパンションジョイントその他の相互に応力を伝えない構造方法のみで接している場合も含む）は、それぞれ別の建築物とみなす。(い)

- (1) 特定構造計算基準又は特定増改築構造計算基準（建築基準法第 20 条第 1 項第 2 号イに規定する政令で定める基準に従った構造計算で国土交通大臣が定めた方法によるもの）に適合するかどうかの構造計算適合性判定 別表 1
- (2) 特定構造計算基準又は特定増改築構造計算基準（建築基準法第 20 条第 1 項第 2 号イ又は第 3 号イに規定する政令で定める基準に従った構造計算で国土交通大臣の認定を受けたプログラムによるもの）に適合するかどうかの構造計算適合性判定 別表 2

# 構造計算適合性判定業務手数料規程

頁 No.2/5

SR-33-08

平成 27 年 6 月 1 日制定

平成 29 年 4 月 1 日改訂

平成 29 年 4 月 1 日施行

別表 1 判定手数料（第 2 条、(1)関係）（大臣認定プログラム以外による構造計算）

(い) (ろ) (は) (に) (ほ) (へ) (と)

(単位：円、非課税)

業務区域 (建設地)	床面積の合計						
	200m <sup>2</sup> 以内	200m <sup>2</sup> 超 500m <sup>2</sup> 以内	500m <sup>2</sup> 超 1,000m <sup>2</sup> 以内	1,000m <sup>2</sup> 超 2,000m <sup>2</sup> 以内	2000m <sup>2</sup> 超 10,000m <sup>2</sup> 以内	10,000m <sup>2</sup> 超 50,000m <sup>2</sup> 以内	50,000m <sup>2</sup> 超
北海道※1		180,000		230,000	250,000	300,000	550,000
青森県		160,000		230,000	260,000	410,000	760,000
岩手県		179,000		237,000	270,000	357,000	651,000
宮城県		176,000		236,000	266,000	356,000	636,000
秋田県		194,000		259,000	295,000	393,000	721,000
山形県		177,000		235,000	267,000	354,000	647,000
福島県		158,000		212,000	253,000	344,000	643,000
茨城県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
栃木県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
群馬県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
埼玉県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
千葉県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
東京都		156,000		209,000	240,000	319,000	587,000
神奈川県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
新潟県		180,000		240,000	270,000	360,000	660,000
富山県		160,000		210,000	270,000	350,000	640,000
石川県	120,000	140,000	160,000	210,000	240,000	320,000	580,000
福井県		160,000		210,000	240,000	320,000	580,000
山梨県		170,000		224,000	256,000	337,000	613,000
長野県		140,000		190,000	230,000	300,000	560,000
岐阜県		157,000		209,000	240,000	319,000	587,000
静岡県		156,000		209,000	240,000	318,000	587,000
愛知県		160,000		212,000	243,000	321,000	590,000
三重県		157,000		209,000	240,000	319,000	587,000
滋賀県	117,100	140,000	162,800	185,700	221,900	294,700	541,300
京都府※2	117,100	140,000	162,800	185,700	221,900	294,700	541,300
大阪府※2	117,100	140,000	162,800	185,700	221,900	294,700	541,300
兵庫県		167,000		215,000	248,000	324,000	590,000
奈良県	117,100	140,000	162,800	185,700	221,900	294,700	541,300
和歌山県※2	117,100	140,000	162,800	185,700	221,900	294,700	541,300
鳥取県	160,100	183,000	205,800	228,700	264,900	337,700	584,300
島根県		185,000		244,000	278,000	365,000	663,000
岡山県		157,000		217,000	298,000	388,000	710,000
広島県		—		—	—	—	—

# 構造計算適合性判定業務手数料規程

頁 No.3/5

SR-33-08

平成 27 年 6 月 1 日制定

平成 29 年 4 月 1 日改訂

平成 29 年 4 月 1 日施行

業務区域 (建設地)	床面積の合計						
	200m <sup>2</sup> 以内	200m <sup>2</sup> 超 500m <sup>2</sup> 以内	500m <sup>2</sup> 超 1,000m <sup>2</sup> 以内	1,000m <sup>2</sup> 超 2,000m <sup>2</sup> 以内	2000m <sup>2</sup> 超 10,000m <sup>2</sup> 以内	10,000m <sup>2</sup> 超 50,000m <sup>2</sup> 以内	50,000m <sup>2</sup> 超
山口県	183,000			246,000	283,000	376,000	693,000
徳島県	204,762			273,134	311,863	414,422	761,333
香川県	186,000			248,000	284,000	378,000	693,000
愛媛県	212,000			283,000	325,000	431,000	793,000
高知県	158,000	180,900	203,700	226,600	262,800	335,600	582,200
福岡県	イ) 限界耐力計算又はこれと同等以上に安全性を確かめることができる構造計算によるもの						
	207,000			277,000	316,000	421,000	774,000
福岡県	ロ) イ)以外によるもの						
	175,000			230,000	262,000	345,000	625,000
佐賀県	217,000			266,000	330,000	404,000	695,000
長崎県	イ) 限界耐力計算又はこれと同等以上に安全性を確かめることができる構造計算によるもの						
	216,000			290,000	331,000	441,000	813,000
長崎県	ロ) イ)以外によるもの						
	186,000			227,000	249,000	311,000	519,000
熊本県	イ) 限界耐力計算又はこれと同等以上に安全性を確かめることができる構造計算によるもの						
	214,000			286,000	327,000	435,000	800,000
熊本県	ロ) イ)以外によるもの						
	77,000	153,000		200,000	228,000	435,000	800,000
大分県	206,000			272,000	305,000	404,000	735,000
宮崎県	198,000			260,000	290,000	370,000	690,000
鹿児島県	182,000			224,000	336,000	447,000	825,000
沖縄県	120,000	157,000	194,000	268,000	309,000	419,000	790,000

## 【備考】

※1：「床面積」とは構造計算適合性判定に係る建築物の床面積をいう。ただし、適合判定通知書の交付があった建築物の計画を変更する場合については、当該変更（計画を変更する建築物の直前の構造計算適合性判定について一般財団法人日本建築センターから適合判定通知書の交付があった場合に限り）に係る部分の床面積とする。

※2：「床面積」とは構造計算適合性判定に係る建築物の床面積をいう。ただし、適合判定通知書の交付があった建築物の計画を変更して建築物を建築し、又は大規模の修繕若しくは大規模の模様替えをする場合については、床面積の2分の1の面積（床面積が増加する場合にあっては、当該増加する部分の床面積に当該増加する部分以外の床面積の2分の1を加えた面積）とする。

# 構造計算適合性判定業務手数料規程

平成 27 年 6 月 1 日制定

平成 29 年 4 月 1 日改訂

平成 29 年 4 月 1 日施行

別表 2 判定手数料（第 2 条、(2)関係）（大臣認定プログラムによる構造計算）

(い) (ろ) (は) (に) (ほ) (へ) (と)

(単位：円、非課税)

業務区域 (建設地)	床面積の合計						
	200m <sup>2</sup> 以内	200m <sup>2</sup> 超 500m <sup>2</sup> 以内	500m <sup>2</sup> 超 1,000m <sup>2</sup> 以内	1,000m <sup>2</sup> 超 2,000m <sup>2</sup> 以内	2000m <sup>2</sup> 超 10,000m <sup>2</sup> 以内	10,000m <sup>2</sup> 超 50,000m <sup>2</sup> 以内	50,000m <sup>2</sup> 超
北海道※1		120,000		150,000	160,000	190,000	310,000
青森県		110,000		140,000	160,000	240,000	410,000
岩手県		129,000		158,000	173,000	217,000	362,000
宮城県		136,000		156,000	176,000	216,000	356,000
秋田県		133,000		165,000	183,000	231,000	393,000
山形県		138,000		167,000	182,000	225,000	370,000
福島県		116,000		141,000	161,000	208,000	353,000
茨城県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
栃木県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
群馬県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
埼玉県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
千葉県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
東京都		108,000		134,000	147,000	187,000	319,000
神奈川県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
新潟県		130,000		160,000	170,000	220,000	360,000
富山県		120,000		150,000	170,000	210,000	360,000
石川県	90,000	110,000	120,000	150,000	160,000	200,000	320,000
福井県		120,000		150,000	160,000	200,000	320,000
山梨県		121,000		148,000	162,000	203,000	339,000
長野県		100,000		120,000	130,000	170,000	300,000
岐阜県		108,000		134,000	148,000	187,000	319,000
静岡県		107,000		134,000	147,000	187,000	319,000
愛知県		110,000		137,000	150,000	190,000	322,000
三重県		108,000		134,000	148,000	187,000	319,000
滋賀県	88,700	100,100	111,600	123,000	139,600	176,000	297,600
京都府※2	88,700	100,100	111,600	123,000	139,600	176,000	297,600
大阪府※2	88,700	100,100	111,600	123,000	139,600	176,000	297,600
兵庫県		115,000		137,000	151,000	191,000	323,000
奈良県	88,700	100,100	111,600	123,000	139,600	176,000	297,600
和歌山県※2	88,700	100,100	111,600	123,000	139,600	176,000	297,600
鳥取県	131,700	143,100	154,600	166,000	182,600	219,000	340,600
島根県		142,000		171,000	186,000	230,000	377,000
岡山県		117,000		139,000	185,000	230,000	403,000
広島県		—		—	—	—	—

# 構造計算適合性判定業務手数料規程

頁 No.5/5

SR-33-08

平成 27 年 6 月 1 日制定

平成 29 年 4 月 1 日改訂

平成 29 年 4 月 1 日施行

業務区域 (建設地)	床面積の合計						
	200m <sup>2</sup> 以内	200m <sup>2</sup> 超 500m <sup>2</sup> 以内	500m <sup>2</sup> 超 1,000m <sup>2</sup> 以内	1,000m <sup>2</sup> 超 2,000m <sup>2</sup> 以内	2000m <sup>2</sup> 超 10,000m <sup>2</sup> 以内	10,000m <sup>2</sup> 超 50,000m <sup>2</sup> 以内	50,000m <sup>2</sup> 超
山口県	129,000			160,000	176,000	223,000	379,000
徳島県	141,331			175,518	193,065	244,345	415,782
香川県	129,000			159,000	176,000	222,000	379,000
愛媛県	146,000			181,000	200,000	253,000	431,000
高知県	129,600	141,000	152,500	163,900	180,500	216,900	338,500
福岡県	イ) 限界耐力計算又はこれと同等以上に安全性を確かめることができる構造計算によるもの						
	143,000			177,000	195,000	247,000	422,000
	ロ) イ)以外によるもの						
	122,000			150,000	164,000	205,000	344,000
佐賀県	165,000			190,000	206,000	243,000	371,000
長崎県	イ) 限界耐力計算又はこれと同等以上に安全性を確かめることができる構造計算によるもの						
	148,000			185,000	203,000	258,000	442,000
	ロ) イ)以外によるもの						
	162,000			183,000	193,000	224,000	327,000
熊本県	イ) 限界耐力計算又はこれと同等以上に安全性を確かめることができる構造計算によるもの						
	147,000			183,000	201,000	255,000	436,000
	ロ) イ)以外によるもの						
	72,000	116,000		139,000	152,000	255,000	436,000
大分県	140,000			173,000	189,000	239,000	404,000
宮崎県	149,000			180,000	190,000	240,000	390,000
鹿児島県	139,000			160,000	206,000	262,000	449,000
沖縄県	89,000	107,000	125,000	162,000	181,000	236,000	420,000

## 【備考】

※1：「床面積」とは構造計算適合性判定に係る建築物の床面積をいう。ただし、適合判定通知書の交付があった建築物の計画を変更する場合については、当該変更（計画を変更する建築物の直前の構造計算適合性判定について一般財団法人日本建築センターから適合判定通知書の交付があった場合に限る）に係る部分の床面積とする。

※2：「床面積」とは構造計算適合性判定に係る建築物の床面積をいう。ただし、適合判定通知書の交付があった建築物の計画を変更して建築物を建築し、又は大規模の修繕若しくは大規模の模様替えをする場合については、床面積の2分の1の面積（床面積が増加する場合にあっては、当該増加する部分の床面積に当該増加する部分以外の床面積の2分の1を加えた面積）とする。